

※撮影時は感染症対策を万全にし、一時的にマスクを外しています。



税金について学びを深める

柿岡小学校にて市税務課職員による租税教室開講

児童たちは、税金が自分たちの身の回りでのどのように使われているのか、テキストやDVDといった教材を用いながら学習しました。税金がなくなったらゴミや道路、公園の整備など普段の日常生活を送るうえで、必要な公共サービスが受けられなくなってしまうことを知りました。

また、職員が出題した税に関するクイズの時間では、児童たちが熱心に答えを探している様子が見受けられました。



▲児童たちは、職員からの問いかけに対して、熱心に手を挙げて授業に臨んでいました。



▲（写真上）市政企画課職員から市の現状と課題について説明を受ける生徒（下）三曲協会による箏の体験授業の様子

生徒と地域の関わりを探る

石岡第二高校で「探究の日」 地域の魅力と課題に触れる

県の取り組みである令和4年度「県立高校等チャレンジ・プロジェクト」の「地域魅力型」の重点校に指定されている県立石岡第二高校。9月13日には、生徒自身が地域との関わりを意識して探究学習をする「探究の日」が実施されました。

外部講師として、市政企画課職員や市文化協会に所属する三曲協会による授業も行われ、生徒は1日かけて様々な視点から地域の魅力と課題について考えました。

石岡市のジオサイトを巡る

新たな体験活動

岩間第三小学校ジオツアー

校外学習として岩間第三小学校の子供たちが、筑波山地域応援まち映画「いしつちみずとだいちのこえ」に登場する石岡のサイトを巡りました。サイトを巡るごとに、市の職員からその場所の説明が載ったカードが手渡され、子どもたちはそこに「お気に入り度」を書いたりして、楽しんでいる様子でした。常陸風土記の丘では、古代家屋や資料館などを見学したり、日本一大きな獅子頭をみて、とてもおどろいている様子でした。



▲①岩間第3小の児童及びボランティアと市職員 ②古代家屋見学の様子 ③獅子頭にて ④染谷佐志能神社にて参拝



▲①提供された給食 ②③給食を食べる柿岡小学校6年1組の児童 ④栄養教諭の宮崎先生から食材について説明を受ける児童

ふるさとの恵みをおいしくいただく 石岡市産の食材を使用した 給食が市内小中学校で提供

10月1日の市民の日にちなみ、9月30日には特別栽培米のこしひかりや地元産の常陸牛、小松菜やねぎを使用した給食が提供されました。また、のりの袋には代表で選ばれた子どもたちの絵が描かれました。子どもたちからは「常陸牛の牛丼がとてもおいしかった」「ご飯が好き」「野菜は苦手だけれど、今日のサラダは美味しく食べられた」といった感想が挙がりました。栄養豊富なふるさとの恵みをいただき、地域への愛着が深まった1日でした。

世界一の栄光掴む

理美容師の中嶋聡さんが パリ開催の世界大会で優勝

柿岡で理容店を営む中嶋聡さんが、9月10日からフランス・パリで開催された「OMC ワールドチャンピオンシップ（世界理容美容技術選手権大会）」のファッションカッターヘアプレイスメント部門で金メダルを受賞しました。

中嶋さんは、今年2月に日本で開催された国際大会で優勝し、日本代表チームの一員として出場。イタリアやドイツなどの強豪国の代表選手を退け、世界チャンピオンに輝きました。



▲（写真左から）中嶋聡さん、谷島市長



▲11月中旬には、富有柿が最盛期を迎えます。

内田観光果樹園にて

やさと観光果樹組合 柿・みかん・りんごPR会開催

今年の柿の生育状況は、天候や害虫の影響により、例年より収穫量は減少しているものの、品質や味については影響ないとのことで、当日用意された全ての品種で16～18程度の糖度が計測されました。

やさと観光果樹組合柿部会長の瀬尾さんからは「柿狩りには十分な量があるので、安心して遊びに来てほしい」とのお話がありました。

柿狩りシーズンは11月末までとなっています。お出かけの際にぜひ、訪れてみてはいかがでしょうか。